

5月の園だより

令和7年5月 富田林市立青葉丘幼稚園



さわやかな風によってこのぼりが元気に泳ぎ、あざやかな緑がまぶしい季節となりました。

先日は、入園・進級後初めての参観に参加いただき、ありがとうございました。緊張の中にも、おうちの方や友達と一緒に活動する楽しさを感じたり、ドキドキしながらも人前で返事や話をしたりすることができ、少し自信をもてたのではないのでしょうか。

青葉丘幼稚園のシンボルとも言えるビオトープですが、以前からお話しさせていただいていたように、数年前からの水漏れ、ザリガニの繁殖など、このままでは、クロメダカをはじめ、自然の生き物たちが生きることができない状態になっております。このたび、大阪大谷大学の地下先生の指導助言をいただき、子どもたちと一緒に改修をすることとなりました。早速、5歳児の子どもたちと溜まった泥をすくい上げたのですが、泥は重く、量もあり「僕たちだけでは無理だ!」「おうちの人たちに手伝ってもらおう」と、話をしていました。生き物のために自分たちで活動するというだけでなく、いろいろな人の助けをいただいて改修することは、子どもたちにとって、命、協力、感謝・・・など、貴重な体験になると思います。

ビオトープの改修は、とてもたいへんで地道な作業。とくに新たに作るのではなく、今あるビオトープの再生ということで、基礎部分にある土の層(水を通さない層)を生かし、掘り出した土の再利用、修復など様々な工程があります。今まで大切にしてきたビオトープを改修(再生)し、水辺の生き物やまわりの自然を含めた環境を生かし、子どもたちが豊かな体験ができますよう、ご理解ご協力をお願いいたします。

5月1日からは3歳児の午後保育もスタートし、ゴールデンウィーク後は、“春のつどい”“遠足”など、いろいろな行事もあります。様々な活動をするなかで、「たのしい」「やってみたい」など、一人一人の子どもたちの心が揺さぶられる体験や遊びがいっぱいできる園生活を過ごせることを願っています。

園での様子をお伝えしたり、家庭での様子を教えていただいたりしながら、5月も子どもたちが安心して園生活を楽しめるように、ご協力をお願いいたします。

園長 平尾 由美子

育てたいこと



3歳児

- ・身近な自然に触れながら、戸外で先生や友達と一緒に遊ぶ心地よさを感じる
- ・園生活の流れを知り、生活のリズムになれる

4歳児

- ・先生や友達と触れ合いながら、伸び伸びと体を動かして遊ぶ心地よさを味わう
- ・身近な自然に触れたり、感じたことを伝えようとしたりする。

5歳児

- ・友達と一緒に戸外に出て、伸び伸びと体を動かして遊ぶことを楽しむ
- ・身近な動植物に親しみ、興味や関心をもち観察したり、触れたりして遊ぶ

